



決勝トーナメント進出を喜ぶファンたち＝
13日、横浜国際総合競技場、福留庸友撮影

悲願の決勝T 歓喜



逆転し、相手の攻撃をしのぎ、史上初の決勝トーナメント（T）進出をたぐり寄せた。ラグビー・ワールドカップ（W杯）日本大会の日本―スコットランド戦。日本の勝利の瞬間。

間、ファンは雄たけびをあげた。▼1面参照
会場の横浜国際総合競技場。試合が終わった瞬間、大歓声に包まれ、涙を流す人もいた。川崎市の会社員岡本泰之さん（49）は1次リーグ全4試合を観戦し、「感動の連続だった」。ラグビー歴は約30年。「自分も戦うつもりで」と、日本代表のジャージーにヘッドキップをかぶり、ラグビーボールも持参して駆けつけた。「この先も楽しみでしかたない」。東京都品川区の会社員野口一弘さん（52）も「4年前、スコットランドに負けて悔しい思いをしたから……。最高の瞬間に立ち会えて、言葉にならない」と声を震わせた。
試合前には選手や観客らが台風19号の犠牲者に黙禱を捧げた。岐阜県羽島市から新幹線で訪れた歯科医師戸田秀治さん（58）は「会場まで来られるか心配だったが、現地で応援できるだけで幸せ」。日本が4トライを奪う展開に「日本が強

なったと改めて実感した」と語った。日本代表のリーチ・マイケル主将は「私たちがだけの試合ではないと思っていた。僕たちの闘いが、少しでも勇気を与えられたと思う」と話した。

